

## 失われた 38 分

### — 村上春樹原作『ノルウェイの森』の映画化、 および中国における同作改編上映による変容をめぐって

徐 子怡

はじめに

『ノルウェイの森』（以下は『森』と略す）は 1987 年 9 月に講談社より刊行された、村上春樹（1949 ～）の 5 冊目の長編小説である。刊行された当時、赤色と緑色に装丁された上下巻は、クリスマス・カラーに連想させることも手伝って、刊行後わずか一年間で、二巻の合計累計販売部数が 435 万部に達し、日本の小説発行部数の記録を塗り替えるような大ベストセラーとなった。<sup>1</sup> 近年、『1Q84』（2009）ブームの影響で『森』の人氣が再燃し、現在の累計はすでに 1000 万部を突破しており、36 か国・33 言語に翻訳され、世界中でも広く愛読されている。<sup>2</sup>

この 28 年間に渡りロングセラーを続けている作品が、2010 年に『青いパパイアの香り』（1993）や『シクロ』（1995）などの国際映画祭で受賞作品により名を知られている、ベトナム系フランス人の映画監督トラン・アン・ユン（1962 ～）によって映画化され、2010 年 12 月 11 日に日本で劇場公開された。また、同作は翌年の 2011 年 9 月には、中国の村上愛読者たちが大きな期待を寄せる中、中国でも劇場公開されている。小説『森』は 1989 年に『挪威的森林』という訳題で中国語に訳されており、現在も中国人読者に熱心に読み継がれているのだが、中国の劇場で公開された映像は日本で上映されたオリジナル版より 38 分ほどの内容がカットされていたのである。

1 『村上春樹全小説ガイドブック』洋泉社、2010 年、4 頁。

2 「『ノルウェイの森』とその時代」ELLESPECIAL、2010 年 12 月号、301 頁。

本論では、小説『森』が文学テキストから映画化される改編過程において、如何なる変容が生じたかをめぐり、広範な観客の反応も視野に入れながら検証する。また、本来の映画化作品から30%近くもカットされるという二重の改編を受けた中国劇場版『森』が、30年近く続く中国の『森』読書史において、どのような意味を持つのかをも考察したい。

## 1. 『ノルウェイの森』の映画への改編

### (1) 奇跡の映画化

管見の限り、2007年までに、村上作品から改編された映画は6本である。<sup>3</sup> そのうち、『風の歌を聴け』（1981）以外はすべての原作小説は短編作品である。周知のように、村上春樹は自作の長編、とりわけ『森』の映像化には非常に消極的であった。原田真人監督によれば、『森』がベストセラーとなった当初、映画化希望の手紙を作者に出したところ、村上春樹から、たとえキューブリックが申し出たとしてもお断りしたいと、断られたという。それ以来、『森』の映画化は長らく突破できない難関だとされてきた。

そのような頑な姿勢を取ってきた村上春樹が、2005年に『森』の映画化をベトナム系フランス人のトラン・アン・ユン監督に委ねたことに、多くの人々が不思議な思いを抱いたことであろう。『森』の映画化について、村上自身が2008年10月、中国語簡体字版の翻訳者である林少華（1952～）との面会の際に、下記のように言及したという。

「短編小説のばあい、もし映画化の申し入れがあったら、だいたい相手

---

3 ①大森一樹監督『風の歌を聴け』1981年。②山川直人監督「パン屋襲撃」1982年。③山川直人監督「100%の女の子」（原作「四月のある晴れた朝に100パーセントの女の子に出会うことについて」）1983年。④野村恵一監督「森の向う側」（原作「土の中の彼女の小さな犬」）1988年。⑤市川準監督「トニー滝谷」2004年。⑥ロバート・ログバル（Robert Logevall）監督「All God's Children Can Dance」（原作「神の子どもたちはみな踊る」）2007年。（制作年順）

と相談するが、長編ははじめてであり、なぜならこれ（長編の映画化。※筆者注）はとても難しいからだ。ただしそれでも『森』が比較的容易であるのは、つまるところ『森』がリアリズム小説であるからだ。」<sup>4</sup>

またトラン監督に対する『森』映画化の許諾について、村上は林少華に「監督の作品を見て、好きだったのでとりあえず会って話を聴こう」<sup>5</sup>というところから始まり、「以前『森』映画化の申し入れがあったが、彼〔村上〕は全部断わっていた。しかし今回はトラン監督とアメリカで一回、東京で二回会って、この日本人でもアメリカ人でもない監督に任せてもいいけないことはないと思った」と語ったという。<sup>6</sup>

文芸批評家の四方田犬彦の分析によれば、村上春樹が気に入ったのは、国境を超える特殊な身分を持つトラン監督のつねに外部からの眼差しというものに基づいて、映画を監督しているところである。<sup>7</sup>

こうして、『森』の映画化は長らく不可能とされてきたなかで、2010年にトラン・アン・ユン監督により、日本映画では異例の半年以上という長い撮影期間を経て、完成された。

2010年9月に映画『森』は、世界三大映画祭の一つとされるヴェネツィア国際映画祭で第67回ワールドプレミアとして上映された後、12月11日から日本全国312のスクリーンで正式に公開された。本作は40代前後の世代を中心に幅広い世代の観客から支持を受け、上映前の宣伝及び原作の人気も手伝って、公開初日2日間で観客動員数は13万2,220人、興収

4 原文：「就短篇小说来说，如果有人提出拍电影，一般都会同对方协商，但长篇是第一次，因为这很难。不过《挪》还是相对容易的，毕竟《挪》是现实主义小说。」村上春樹著、林少華訳《挪威的森林（電影特別版）》上海譯文出版社、2011年、2頁。

5 小川真司プロデューサーインタビュー、『CINEMA SQUARE』Vol.34、2010年12月、116頁。

6 原文：「他说关于《挪》此前也有人提出拍电影的事，他都没有同意。而这次他同陈英雄在美国见了一次，在东京见了两次，觉得由这位既非日本人又不是美国人的导演拍成电影也未尝不可。」《挪威的森林（電影特別版）》、2頁。

7 四方田犬彦「韓流ノルウェイのできるまで」『総特集☆村上春樹 —『1Q84』へ至るまで、そしてこれから』『ユリイカ1月臨時増刊号』、青土社、2010年12月号、156頁。

は1億8,371万4,500円という好成績を収め、一気に上映回数ランキングと興行収入ランキング<sup>8</sup>のトップ3に入った。<sup>9</sup>しかし、2010年度邦画興行成績ランキングにおける順位を見てみると、邦画46本の内、興収14億円の39位、<sup>10</sup>という最終成績は、公開当初の観客動員数や原作の爆発的な人気の高さと比べれば、決して優れた成績とは言えない。そもそも観客の低評価コメントが多く、それは役者のミスキャスト、原作の肝腎な部分の消去、登場人物の不十分な再現、そして本来深刻そうなテーマの淡薄化という点に集中している。いっぽう、「映像は非常に綺麗、写真集をめぐっているかのような美しい景色ばかりでした。」<sup>11</sup>や、「20年ぐらい前、赤と緑の原作本を読んだ時に感じた雰囲気が映画を見た時も感じる事ができました。」<sup>12</sup>のような肯定的なコメントも散見される。

## (2) 小説から映画への変容

小説『森』は60年代末の学園紛争時代を背景に、男性主人公のワタナベと彼の恋人で精神的に不安定でデリケートな恋人直子、そして活気溢れる魅力的な同級生緑を中心に、思春期の葛藤や、恋愛、喪失感を巧みに描いた、「恋愛より成長の方に近い」<sup>13</sup>小説である。

映画『森』のストーリーは基本的に原作に対して忠実に作成されたと言える。しかし、単行本で上下二巻計525頁の長編を133分の映画に改編

8 興行通信社2010年12月11日と12日のデータによる。

9 「『ハリボテ』首位奪還!『ノルウェイの森』は初登場3位にランクイン!!」シネマトゥデイ2010年12月15日。<http://www.cinematoday.jp/page/N0029029> (2015年3月27日に最終閲覧)。

10 「映画ランキングドットコム」<http://www.eiga-ranking.com/boxoffice/japan/yearly/total/2010.html> (2015年3月27日に最終閲覧)。

11 【Yahoo映画】suz\*\*\*\*\* (匿名)、2015年1月22日8時43分発表。

12 投稿:tutti「雰囲気がよみがえる」(投稿日:2011/8/7) <http://movie.walkerplus.com/mv45130/review/> (2015年3月27日に最終閲覧)。

13 村上春樹「(自作を語る)100パーセント・リアリズムへの挑戦」(『全作品1979～1989⑥』講談社、1991年3月第1刷、2010年1月第8刷、付録)Ⅸ頁。

えよう。しかし、単行本で上下二巻計 525 頁の長編を 133 分の映画に改編する際に、多くの変容が生じている。本論では、小説から映像化への過程における作品の構造、登場人物の再現、テーマ及び内容の変容について、主に以下の 3 点に絞って注目したい。

### ● 構造上の変化 — イン트로ダクションの消去

小説『森』には、37 歳のワタナベがドイツ・ハンブルグ空港到着の飛行機の中でビートルズの名曲「ノルウェイの森」を耳にして突然混乱に襲われ、18 年前に付き合っていた恋人直子のことを思い出すことから物語が始まる。この時点では直子はすでに死者となっているが、語り手のワタナベは読者に直子の死を伏せたまま物語を語ってゆく。ここには二重の「目」が存在していることを日本文学評論家の佐藤幹夫は指摘している。つまり、「過去をふりかえるワタナベ」と「現在を生きるワタナベ」によって、死者への回想が現在のこととして語られていく構造である。<sup>14</sup> このようにして、ワタナベはこの二重の「目」をもちながら、失った人々と過去の青春を弔っている。ワタナベの回想は小説の構造上に重要な役割を果たしていると同時に、『森』を成長小説としての完成に導く重要な鍵でもある。

いっぽう、映画『森』では、小説冒頭の回想シーンが再現されず、いきなり高校生のワタナベ（松山ケンイチ）、直子（菊地凜子）、キズキ（高良健吾）の三人が校庭らしき庭で仲良く遊ぶシーンから始まる。監督はこのような処理について、下記のように説明した。

「映画でそのプロローグ部分（ワタナベの回想。※筆者注）を描かなかったのは、ノスタルジックな視点の作品にしたくなかったからです。あくまでも若い人たちの、現在の物語として語りたいからです。」<sup>15</sup>

つまり、映画『森』は最初から原作の構造をリードする重要な回想シーンを意図的に消去することによって、小説とは異なる物語の構成を観客に

14 佐藤幹夫『村上春樹の隣には三島由紀夫がいつもいる』PHP 新書、2006 年、207 頁。

15 『CINEMA SQUARE』Vol.34、108 頁。

明示しているのである。

### ● 登場人物の不十分な再現

小説『森』では、主人公のワタナベ、直子、緑のほかに、エリート官僚予備軍の永沢先輩、彼の優雅で完璧なガールフレンドのハツミ、波乱万丈な過去を持つレイコ、高校時代に自殺した親友のキズキ、そして、ワタナベの学生寮における風変りなルームメートの突撃隊などの登場人物も設定されており、どれも個性鮮明な存在で主人公たちと比肩できるほど読者に強い印象を与えている。その中でも特にレイコはワタナベと直子にとっては非常に特別な存在である。

レイコは直子が入院した精神療養所の阿美寮でのルームメートであり、曾てピアニストを目指していたが突然指が動かなくなって、精神的に大きな打撃を受けたことがある。その後結婚と出産を経て、ピアノの家庭教師となって徐々に回復し始めたところで邪悪な13歳の美少女生徒の奸計により、病気が再発して、夫と離婚し、それ以来阿美寮で暮らしていた。

小説では、レイコが自分の過去、特に美少女との出会いの強烈な体験についてワタナベに語ることによって、レイコの人間性の奥行きが示されていると同時に、その後の彼女とワタナベとの親密な関係にも繋がっていく。<sup>16</sup> また、小説の最後では、レイコが直子の遺品の服を着たまま東京を訪れ、ワタナベの前で50曲をギター演奏して直子のために「淋しくない」葬式をした後に、二人は心を許しあい自然に求め合うようになる。特にその夜のセックスの回数が4回と強調されたのは、ワタナベが直子の服を着たレイコ＝レイコン（直子の靈魂）と「4回」＝「四回」＝「死界」のセックスすることによって、直子を弔うための「死の世界のセックス」が完成された、と日本文藝評論家の小山鉄郎は解釈する。<sup>17</sup>

このように小説では、自分の過去に苦しみながら直子を大事にし、更に死と生を越えて、ワタナベと直子との間で重要な役割を果たすレイコが、

16 内田樹「映画『ノルウェイの森』を見ました」、ブログ【内田研究室】2010年10月28日。[http://blog.tatsuru.com/2010/10/28\\_1451.php](http://blog.tatsuru.com/2010/10/28_1451.php)（2015年3月28日に最終閲覧）。

17 小山鉄郎『空想読解 なるほど、村上春樹』共同通信社、2012年、76～78頁。

映画では、まるで別人のように再現されているのである。

映画『森』において、過去の物語が消去されたレイコ（霧島れいか）はごく普通の阿美寮入院患者の一人として登場する。また、ワタナベのアパートを訪れる最後のシーンでは、直子の服、ワタナベと一緒にいった直子のための「淋しくない」音楽葬、そして「4回」と強調されるセックスの各部分が完全にカットされた上に、原作にはないレイコのシャワーシーンが付け加えられている。このように何の前置きもなくレイコのセクシーなシーンが挿入されることによって、レイコのワタナベに対するセックスの誘いが、非常に唐突な言動となり、観客に「原作のレイコに失礼」、「単なる色情狂」<sup>18</sup>といったような悪いイメージを与えている。

レイコの他に、永沢さん（玉山鉄二）や突撃隊（柄本時生）も、原作と比べてセリフや内容が大幅に削減されたことによって、希薄な存在となっている。

## ● 深化できない「生」と「死」のテーマ

親友のキズキを失った悲しみから絞り出されるワタナベの言葉「死は生の対極としてではなく、その一部として存在している」は、小説『森』中の名句として広く知られている。この言葉はまた『森』における第一号の死者であるキズキの死と共に、その後のワタナベが経験するすべての「生」と「死」に共通し、やがて小説全体を貫く重要なテーマとなる。『森』ではたくさんの死者が出てくる。それは生者に無限の喪失感を与えると同時に、生者に死者と共に生きて行くことを覚悟させる。この点について、『森』では「生」の世界が「死」という異界と非常に近いのだと小山氏は指摘する。<sup>19</sup> この指摘は、前述した小山氏によるレイコとワタナベのセックスに関する分析にも通じている。

映画『森』には、小説と同様にたくさんの死者が登場する。特に、原作では略述されたキズキの自殺過程が細かくリアルに再現されており、この

18 「映画『ノルウェイの森』感想」2010年12月12日、ブログ【琥珀色の戯言】、  
<http://d.hatena.ne.jp/fujipon/20101212>（2015年3月29日に最終閲覧）。

19 小山鉄郎『村上春樹を読みつくす』講談社、2010年、14頁。

点からは、原作の「死」を意識的に強調する演出が見て取れる。しかし、キズキの自殺後には、前述の小説『森』の「生」と「死」に関する格言は登場せず、いきなりワタナベが東京の大学のキャンパスを歩くシーンへとつながる。この一句の消去により、映画では小説のように「生」と「死」のテーマが深められないまま、次のステップに跳躍するイメージを観客に与えてしまう。

文学評論家の川村湊によれば、『森』は「まず＜僕＞（ワタナベ）とキズキと直子という、高校時代の男二人、女一人の“三角”を形作り、それは次に緑と＜僕＞と直子、そしてさらにレイコさん—＜僕＞—直子という三角関係として変奏される（中略）一言でいってしまえば＜僕＞をめぐるさまざまな三角の形の「愛」の葛藤を描いたもの」<sup>20</sup>である。この観点を受け止めながら振りかえってみれば、映画『森』はほぼ小説を忠実に再現していると言えよう。しかし、川村による分析の続きを見ればわかるように、たとえ『森』には前述したメインの三角関係以外にも、ワタナベと永沢さんとハツミさん、緑とその恋人とワタナベのような副次的な三角関係が無数に存在しているにしても、『森』を100%の恋愛物語としてストレートに読むのは難しい。なぜなら、その三角関係は恋人同士の男女三人の関係よりも、「危うく倒れそうな木を、その両側の二本の木が支える」<sup>21</sup>ような心を病む人々同士が助け合う三角者関係という人間社会における更に本質的なものである。また、それぞれの三角関係の中には、生者の死者に対する回想や彼らの「死」によって深まった「生」と「死」のテーマも小説において終始重要な働きをしているのである。<sup>22</sup>つまり、一見通俗的な三角関係構造の恋愛物語には更に深層的なテーマが託されており、これらのテーマが読者に人生、青春、そして生と死などを深く考えさせるのである。いっぽう、映画ではリアリズムの手法によって物語の進行を再現することに偏り、骨組みだけを取って、肉を削ったような改編をした結

20 川村湊『村上春樹をどう読むか』作品社、2006年、184頁。

21 川村湊『村上春樹をどう読むか』、185頁。

22 川村湊『村上春樹をどう読むか』、185～189頁を参考にした。

果、観衆を失望させて、原作の人気度との間にギャップが生じたものと考えられる。

本節では、小説『森』の映画化の経緯およびその過程で生じた主要な変容を考察した。香港中文大学教授の李欧梵は自著『文学改編電影』のなかでカフカ小説の映画化について「一人有一個カフカ（人には人それぞれのカフカがいる）」、「カフカの小説のように、既に一流の文学作品となった上、一流の映画作品に改編することは不可能だ。」<sup>23</sup>と述べている。映像に頼る映画と文字に頼る小説は元から表現方法を異にしている。振りかえてみれば、高い評価を得た改編映画は、原作の枠を破り映像表現によって新たな物語を誕生させるものが殆どである。映画『森』の日本における不評はトラン監督が恐らく原作にこだわり過ぎたところにあるのかもしれない。いっぽう同映画が中国で上映された際には、更なる改編が施されたのである。次の節では、中国で上映された映画『森』における再度の変容および観客の反応から映画『森』の中国における受容を考察してみたい。

## 2、中国で上映された映画『森』の変容について

映画『森』は日本公開の翌年に、中国における劇場公開も決定された。それを受け、まず 2011 年 6 月に開催された上海国際映画祭でプレミア上映が行われ、その後の 9 月から中国全土 53 都市、2000 館前後で上映されることになった。プレミア上映の当日に、「用意された約 1000 席の上映チケットは即時完売」、「100 社を超えるマスコミが殺到」<sup>24</sup>などの報道から中国の映画『森』の上映に対する熱いまなざしがうかがえよう。

『森』の映画化自体が奇跡的なことすれば、中国での上映もそれに近いものである。周知のように、外国映画の中国本土での劇場公開がいまだに

23 原文：「像カフカ的小説，既是第一流的文學作品，根本不可能改編為第一流的影片了。」李欧梵『文學改編電影』三聯書店，2010 年，177 頁。

24 「加熱する松山ケンイチ人気！『ノルウェイの森』上海国際映画祭でプレミア上映」MovieWalker、2011 年 6 月 21 日。<http://news.walkerplus.com/article/22794/>（2015 年 3 月 29 日に最終閲覧）。

完全に自由化されておらず、年間の配給本数は50本程度という狭き門である。しかも、そのなかの約8割はハリウッド映画に占められ、日本映画の配給は、アニメーションを除けば年間1～3本程度しかないのが現実である。<sup>25</sup>このような状況のなかで、映画『森』に上映許可を下ろした中国側の快挙は、小説『森』が1989年に『挪威的森林』という訳題で中国語に翻訳され、現在でも中国人読者に熱心に読み継がれていることと緊密な関係があるだろう。

村上作品の中で、最初の本格的な単行本として中国人読者の視野に入ったのは、1989年に桂林・漓江出版社から刊行された林少華訳の『ノルウェイの森（挪威的森林）』である。刊行当時は折しも北京で起こった「天安門事件」と重なる時期であり、民主化運動に挫折した中国の若者たちは『森』に癒しを求めたため、やがて中国では小規模の第一次村上ブームが発生した。その後、1992年以降絶好調が続いた中国経済の成長率がやや鈍くなった1998年に第二次ブームを、そして中国語版『森』が出版20周年を迎えた2007年に第三次ブームを経て、中国における現在までの累計発行部数はすでに200万部を超え、「村上春樹現象」や、村上チルドレン（村上春樹の模倣者たち）を誕生させるほど、中国の文学・文化・社会に大きな影響を与えているのである。<sup>26</sup>

したがって、小説の大成功を経験していた出版社も今回の映画上映の実現に大きな貢献を果たした。『新華書目報』2011年6月20日の記事によると、『森』映画化の決定が日本で発表された後、2001年以降から『森』の版權を所有している上海譯文出版社は直ちに映画配給会社の上海華宇と接触し、映画の輸入を積極的に促進した。このような出版社と映画配

25 「中国の映画市場」[http://j-pitch.jp/production/china/topics2008\\_02.html](http://j-pitch.jp/production/china/topics2008_02.html)。「『ノルウェイの森』快挙！中国本土で公開&上海国際映画祭で上映！松ケンがプレゼンターに」[http://www.excite.co.jp/News/cinema/20110613/Hollywoodch\\_20110613\\_1401.html](http://www.excite.co.jp/News/cinema/20110613/Hollywoodch_20110613_1401.html)（2015年3月29日に最終閲覧）。

26 小説『森』の受容における三回の村上ブーム及び村上チルドレンに関する論述は、藤井省三著『村上春樹のなかの中国』（朝日新聞社、2007）、および拙論「中国における村上チルドレンと村上ファッションー 人気書き込みサイト「豆瓣網」をめぐる冒険」『ユリイカ』を参照。

給会社との連携になるで外国映画の輸入は中国では前例のない挑戦でもある。<sup>27</sup>

しかし、劇場公開が待望された中国版『森』は、日本オリジナル版の 133 分より 38 分ほどの内容がカットされ、わずか 95 分のバージョンになっていたのである。カットされた内容は、「性」を連想させるほとんどのラブシーンと主人公の会話のシーンで、例えば、ワタナベと直子の阿美寮でのラブシーンや、直子が手でワタナベの性欲を解決する内容を暗示するシーン、また緑とワタナベのマスタベーションに関する会話のシーンのほかに、キズキが自殺の準備をするシーンや、緑が自宅でワタナベに自分の父親のことを語るシーン、父親が死んだ後に緑とワタナベが電話で話すシーン、更に永沢・ハツミ・ワタナベ三人の晚餐シーンと直子が自殺した後のレイコとワタナベのシーンなどが挙げられる。

中国側は『森』にある「性」に対して、もともと厳しい姿勢を取っている。1989 年小説『森』の出版当初に、1600 字ほどの性に関する描写が削除され、それをようやく 2001 年再版の上海譯文出版社刊行の『森』全訳本で復活させたことから見れば、映画における「性」と関わるシーンがほとんどカットされたのも、さほど意外なことではないだろう。

確かに、小説『森』ははっきりした性描写の多い作品である。それらの内容を全て演じることは役者にとっても大きな挑戦と言えよう。しかし、実際のところ、トラン監督によりオリジナル映画においてすでにセックスに関する部分はかなり控えめな表現へと修整されている。これについて、トラン監督は下記のように述べている。

「セックスに関する描写が非常に多い作品で、際どいセリフもたくさん出てきますが、映画ではそこをあえて強調せず、裸もほとんど出しませんでした。僕は、この映画でいちばん重要なのは、顔の表情だと思ったからです。この物語では、セックスシーンはすべて登場人物の心の中で変化が起きる大切なシーンになっています。そこで裸の体を見せると、観客の視線がそちらに集まってしまって、いちばん見せたい表情から視線が逸れて

27 「上译社参与『挪威的森林』电影引进」、『新華書日報』、2011 年 6 月 20 日。

しまう、と考えました。登場人物が内面に持つ不安定感を、その表情から捉えたかったのです。」<sup>28</sup>

つまり、映画『森』のラブシーンにおいては、官能的なビジョンより主人公たちの顔による微妙な変化が重視されていた。これによって、原作にある登場人物たちの細かい心境の変動を表わそうとしていたのである。このような小説と映画の補完し合う重要な部分が、中国で上映された際にはほとんどカットされてしまい、唯一残されたのは、直子の誕生日の夜に起きたワタナベと直子の最初のラブシーンのみである。それは恐らく、この物語の発展及び主人公たちの葛藤の原点となる直子の処女性を明らかにする内容が、物語全体の流れにとって非常に重要な存在であり、仮に削除してしまったら、映画のプロットに対する理解に致命的な影響を及ぼす恐れがあるからであろう。ただし、保留といっても、ワタナベの挿入および直子の痛みを暗示する部分はやはりカットされ、二人のキスシーンから直接、ワタナベが直子に対してどうしてキズキと寝なかったのかと訊くシーンにつながる。こうして、中国劇場版『森』においては、主人公たちによる一部の心の変化がラブシーンのカットと共に消えており、小説のクライマックスの一つである直子の処女性の明示も主人公のセリフのみで表出されることとなった。

キズキが自殺の準備をするシーンについて、これは前述したように、オリジナル映画が新しく付け加えた部分である。中国劇場版におけるこの部分のカットは、ストーリーの進行自体に大きな影響を及ぼしてはいないが、オリジナル映画の独創的部分を消してしまったという点では、中国における映画『森』を評価する際にプラスの働きにはならないだろう。また、緑が性に関して大胆な発言をするシーンや、ワタナベに対して自分の家庭状況を告白するシーンなどのカットが、原作にあった、活発で大胆な性格により寂しい人生を前向きに生きている緑の陰陽のギャップのある魅力を抹殺してしまい、オリジナル映画ではもともと賛否両論だった緑（水原希子）を一層平凡なキャラクターに貶めている。そして、ワタナベ、永沢とハッ

28 『CINEMA SQUARE』Vol.34、108頁。

ミの三人の晩餐シーンの完全カットによって、中国劇場版『森』では、永沢がワタナベに対して自分が外務省に合格したと告げた後、突然ワタナベとハツミがタクシーで会話をするシーンへと飛躍してしまう。このような編集は観客にとって、あまりに唐突な転換であり、ハツミの苦しみや、ワタナベ、永沢とハツミの三人の関係も理解しがたいものとなっただろう。

このような中国劇場版『森』のオリジナル映画に対する再編集のなかで、最も変化が大きいのがレイコと言えよう。

前述したように、小説『森』の主人公たちにとって非常に重要な役割を果たしていたレイコが、オリジナル映画において、自身の物語や、ワタナベと一緒にいった直子の音楽葬、そして4回と強調されたワタナベとのセックスといった内容の消去によって、すでに本来の面影を失ったため、観客の不満を招致しているのである。このようなレイコが、中国劇場版『森』では、一層変容してしまい、非常に影の薄い存在となった。中国劇場版『森』では、レイコとワタナベとの最後のラブシーンは言うまでもなく、直子が自殺した後の、レイコとワタナベに関するすべての内容が消されてしまった。このような中国側の編集に対して、「『森』映画の中でレイコとワタナベの内容が全部削除されてしまった！どうしてセックスなしのシーンは残さないの？」<sup>29</sup>といったような中国の観客たちからの不満を訴える声も上がっている。

実際は小説『森』の時点で、レイコという人物は中国の一部の読者たちにとって、受け入れがたい存在だった。それらのレイコに対する不満の理由の多くは、レイコとワタナベの年の差のセックスに集中している。例えば、比較文学研究者の韋晴川の論文「現代与伝統的《挪威的森林》」は、レイコとワタナベのセックスについて「ワタナベと彼より19歳上のレイコとが性関係を持つのはやはり乱倫という違和感を与える。前後の文章をつなげてみれば、このプロットは人に不調和な虚構感を与える」<sup>30</sup>と批判

29 原文：「『挪威的森林』电影中玲子和渡边的情节完全被删了！为什么不保留非性场面？」  
<http://tieba.baidu.com/p/1221250159> (2015年4月10日に最終閲覧)。

30 原文：「渡边与比他大十九岁的玲子发生关系仍给人以乱伦的恶感。联系前后文，这个情节给人以不协调的虚拟感。」韋晴川「現代与伝統的《挪威的森林》」『広西広播電視大学学報』2002年03期、63頁。

した。また読者のなかでは、「ここでは自分より 19 歳年下の BOY と性的関係を持つ（レイコ）が好きな人はいないはず。」<sup>31</sup> や「いまだに正視できない。毎回ギターを弾きながら直子を吊うところまで読んだら飛ばす。反感を抱く。」<sup>32</sup>、「中国人と日本人との文化伝統が違っていて、もちろん性に対する態度も違う。」<sup>33</sup> などの意見がみられる。この意味では、今回、中国側によるレイコに対するオーバーカットは、このような反感に応えて、映画『森』を「レイコ不在」の物語に変身させたための改編出会った可能性もあるだろうという。

オリジナル版映画『森』より更に 30% 近くも内容をカットしたことによって、中国劇場版『森』は観客からのコメントを借用すれば、「こうなると：キズキとハツミの自殺はただの若者の神経過敏のため？レイコはワタナベにとって、療養施設の知友のお姉さん？直子とワタナベは最初から最後まで一回しかセックスしなかった？緑は単なる話す時でも人を無視する高慢な女子クラスメート？」<sup>34</sup> というものになってしまったのだ。

上映前の熱烈な期待とは異なり、映画『森』の中国における上映後の成績も決して良いものではなかった。上海電影（集団）有限公司に配属している上海最大の映画会社である上海聯合電影院線の統計によると、『森』公開後の最初の週末の興収がわずか 300 万元前後（約 5 千 700 万円）で、

31 原文：「这里应该没人会去喜欢……和比小自己 19 岁的 BOY 发生关系的（玲子）。」百度村上春樹バー、「《挪威的森林》中，你最喜欢或者讨厌哪个角色？」ユーザー名：GALATIANS、<http://tieba.baidu.com/p/2257554548>（2015 年 4 月 10 日に最終閲覧）。

32 原文：「至今不敢正视。每次看到弹吉他纪念直子后就跳过。反感。」百度村上春樹バー、「大家对玲子和渡边的做爱有什么看法」ユーザー名：lss622111、<http://tieba.baidu.com/p/459802432?pn=1>（2015 年 4 月 10 日に最終閲覧）。

33 原文：「中国人和日本人的文化传统是不同的，当然对待性的态度也是不同的。」百度村上春樹バー、「大家对玲子和渡边的做爱有什么看法」ユーザー名：Vermouth 的微笑、<http://tieba.baidu.com/p/459802432?pn=1>（2015 年 4 月 10 日に最終閲覧）。

34 原文：「这样一来：木月和初美的自杀只是年轻人的神经过敏？玲子对于渡边来说，是疗养院的知心大姐姐？直子和渡边从头至尾只做了一次爱？绿子只是个说话不看人的高傲女同学？」豆瓣網 室内滂沱 2011-09-18 <http://movie.douban.com/review/5100960/>（2015 年 4 月 10 日に最終閲覧）。

同年2月に上映された中国ロマンス映画『将愛情進行到底』の同時期の興収である3500万元（約6億7千万）と比べれば、雲泥の差である。

いっぽう、「豆瓣電影」<sup>35</sup>でこれまでの村上文学から改編された映画作品の受容状況を整理してみると、下記のとおりになる。

【表1】村上文学から改編された映画の映画鑑賞人数および豆瓣網得点の対照表  
出典：2016年3月30日24時までの「豆瓣電影」データのもとに作成

（製作年代順）

作品名	観賞人数 (人)	豆瓣得点
大森一樹監督『風の歌を聴け』（1981）	671	7.2
山川直人監督『パン屋襲撃』（1982）	517	6.6
山川直人監督『100%の女の子』（1983）	1,707	7.7
市川準監督『トニー滝谷』（2004）	3,202	6.4
Robert Logevall 監督『All God's Children Can Dance』（2007）	879	6.4
トラン・アン・ユン監督『ノルウェイの森』（2010）	118,267	5.9

観客数は他の作品とは桁が違うほど多い点から、映画『森』の中国における高い注目度が窺がえるいっぽう、得点は最低であるのは興味深い。また、この結果を、小説『森』について同時点で収集した評価データ、すなわち読書人数28万6899人、および10点満点のうち得点8.0点の四つ星と比べれば、映画と小説の受容における温度差は一目瞭然である。

ちなみに、筆者が2011年10月に豆瓣網を中心に実施した『森』の読書調査の結果によれば、20代から30代を中心とする回答者は「作品に漂う孤独感や喪失感が非常に共感を呼ぶ」、「細部まで描かれているワタナベのライフスタイルに憧れる」などを『森』愛読の理由として挙げている。中国における『森』読者の多くは、ワタナベの恋愛自体に感銘を受けたのではなく、その恋愛の過程から生まれる人生の無常観や喪失感に共感してい

35 「豆瓣網」とは現代中国の若者たちの間で非常に流行している、読書・音楽・映画・ブログなど幅広いジャンルにわたって網羅的なサービスを提供する文化交流ネットワークのことである。そのうち「豆瓣読書」・「豆瓣電影」・「豆瓣音楽」の三つのサブサイトは「豆瓣網」で最も人気のある三大批評ブロックとされる。本論の「豆瓣網」をめぐる調査および書評とユーザーコメントは、主に「豆瓣電影」を参照したものである。

るのであり、同時に癒しを得てもいるのである。更に、経済発展途上地域の出身者にとっては、『森』は自らの大都市生活に対する想像の糧の一つであり、希望を与えてくれるバイブル的な存在でもあるだろう。小説とは対照的に、映画化の過程においては、物語のストーリー性が重視されたためか、小説の奥行が十分には再現されなかったいっぽう、原作を超越した映画としての鮮明な性格も出せなかった。これは日本と中国双方の観客を失望させた最も大きな原因として考えられる。そして、中国劇場版では、オリジナル映画版よりも 30% 近くもカットされており、このような二重の改編により、映画『森』は更に空疎なものとなり、中国の多くの観客が心に抱いていたであろう小説『森』の世界からは遠く離れてしまったのである。

おわりに

2010 年、長らく不可能とされてきた『森』の映画化がフランス国籍のベトナム人映画監督トラン・アン・ユンによって実現された。単行本上下二冊の長編小説を 133 分の映像に凝縮させるのはやはり至難のわざである上、ワタナベ・直子・緑という三人の主人公を軸とする恋愛物語のストーリー性を重視した結果、この映画版では他の登場人物たちの存在感が希薄となり、小説本来の奥行も十分に再現できなかった。そのため、上映開始前の熱烈な話題性と比べれば、上映後の成績はとても成功と称せるものではなかった。ただし、この映画は村上長篇作品を原作とする初の本格的な映画化の試みであり、画期的作品と言っても過言ではない。

同作は日本公開の翌年の 2011 年 9 月、中国でも劇場公開されたが、性に関わるシーンや主人公の個性を表す内容などを含む 38 分ほどの内容がカットされてしまった。このような二重の改編を受けた中国劇場版映画『森』は、すでにオリジナル版で生じていた欠陥を更に拡大させ、原作小説の重要なキャラクターであるレイコの存在をほとんど抹殺した「レイコ不在」の物語となっている。

藤井省三の考察によると、小説『森』は最初に中国で翻訳・刊行された 1989 年から、この作品はまず民主化運動で挫折した人々にとっての癒し、

あるいは、ポルノ小説として、次には経済発展に伴い、中国の若者たちにとって都市ライフスタイル・ガイドブックとして読まれてきた。二重の改編により成立した中国劇場版『森』は、中国における四半世紀を越す『森』受容史において、結果的にワタナベ・直子・緑の三人をめぐるほぼ「100%」の純粋な三角関係の恋愛小説という新たな読みを創り出したともいえよう。いっぽう、前掲の観客による中国劇場版に対する批判的コメントからは、中国の村上読者が求めていたのはそのような純粋だが単純な愛のあり方ではなく、精神性に加えて、社会性も含有した成熟した恋愛であったことが窺えるのである。